

研究テーマ ●天敵ウイルスによる茶害虫チャノホソガの防除

農学部・農業生産科学科・応用植物科学

教授 津田 勝男

研究の背景および目的

チャノホソガは「三角葉巻(サンカクハマキ)」とも呼ばれ、茶葉を巻いてその中に糞を貯めるために生茶品質を低下させ、茶葉の生産にダメージを与えます。チャノホソガの天敵としてはチャノホソガ顆粒病ウイルスが知られていますが、防除策としては実用化されていません。本研究はチャノホソガ顆粒病ウイルスの病原性を確認するとともに、実用化に向けての利用方法を研究、農薬の使用を低減させる防除策の確立を目的としています。

■おもな研究内容

チャノホソガの大量飼育
 チャ生葉による潜葉期の飼育
 人工飼料による巻葉期の飼育

チャノホソガの幼虫は
 前半の潜葉期(葉に潜る)と
 後半の巻葉期(葉を巻く)に分かれる

ウイルスの大量増殖
 効率的なウイルス接種方法
 効率的なウイルス回収方法

ウイルスは生きた細胞でしか増殖しない
 ↓
 幼虫の体を使ってウイルスを増やす

茶園における効果の実証
 効果的なウイルス散布方法
 野外における病原性の持続性

ウイルスの散布時期・散布濃度など

ウイルスは紫外線により不活化しやすい

期待される効果・応用分野

天敵ウイルスによるチャノホソガの生物的防除を行うことができれば、農薬の使用回数を低減させることが可能になります。消費者が求める、より安全な茶生産が可能になるため、茶業の振興に寄与できると考えます。

■共同研究・特許などアピールポイント

●研究用ウイルスの大量増殖に必要なチャノホソガ人工飼料は確立済み。今後は効率的な接種方法等を研究。効果的な散布方法などの実証研究を共同で行う茶園等の協力先を求めています。

🗨️コーディネーターから一言

茶品質を大きく低下させる茶害虫チャノホソガの駆除に、天敵ウイルスを使う生物的防除策を確立する研究。農薬を減らし、安全な茶生産を可能にします。実用化されれば、鹿児島茶のブランド化にも寄与できる研究です。

研究分野 作物保護、昆虫病理学

キーワード チャノホソガ、茶、害虫、天敵利用、ウイルス